

技術士業務研究会／平成31年2月度例会案内

☆開催日時：平成31年2月8日（金） 18:30～21:00

☆開催場所：大阪科学技術センタービル 601号室

☆開会挨拶（18:30～18:35） 上田 修史 部会長

☆講演

1. (18:35 ～ 19:40)

【ご講演タイトル】：

『セラミック無焼成厚膜形成工法（エアロゾルデポジション工法）についてのご紹介』

技術士（化学部門） 大西 一市 氏

【ご講演概要】

環境問題への意識の高まりとともに、自動車、航空機器、橋梁や高温ガスタービンなどの部材開発で軽量化や耐久性の向上が重要性をもち、高機能あるいは多機能な被膜を形成する工法に関しても、刷新が求められている。このような状況の中、乾燥したセラミックスや金属の微粉体を固体状態のまま、ガスで搬送し、ノズルから噴射して基材に衝突させ、低温・高速の厚膜コーティングを実現するプロセスが見いだされた。熱的アシストの全くない条件で、常温・固体状態のセラミックス微粒子が、高密度、高強度に基板上に厚膜形成できる。原理的にも従来のコーティング技術とは一線を画し、従来課題を克服する可能性を秘めている。この工法について概要を提要事例とともに紹介します。

2. (19:50 ～ 20:55)

【ご講演タイトル】：

『パーム農園での資源・燃料化』

－ Making Any kind of Resources from Palm Oil Basis －

技術士（環境部門、総合技術監理部門）

山本 泰三 氏

【ご講演概要】

エネルギー事業は長期的な視点で、全ての生活者、事業者に寄り添って対応します。お湯を作るガス機器・設備は家庭用から、コージェネ、発電施設へと拡大。省エネ性と燃焼に伴う長期の使用に耐える安全性、大気汚染の少ない機器・システムの開発・普及に技術者として取り組んできた。「王道の経営」という考え方は「経済、社会、技術的要素を融合して問題を解決する」という技術者のあるべき姿に通じます。多くの仲間と次世代に遺すべきシステムの実現、普及に取り組んでいます。

☆業務研究会連絡事項など

☆例会後、珉珉にて講師を囲んで懇談会を開催予定、有志の方々のご参加を願います。

以上

◇参加費：業務会研究会会員は無料、業務会研究会会員外は1,000円

◇申込：2019年2月5日（火）までに下記へお願いします。

懇親会への参加・不参加も合わせてご連絡下さい。

予約なしの飛び込み参加も歓迎します。

業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>

業務研究会 和田 克利 (gyoumuken@gmail.com)

【講師のご経歴】

講師氏名：大西 一市 (おおにし かずいち)

- 【略歴】 1958年 10月 大阪市生まれ、育ち
1977年 3月 大阪府立高津高等学校卒業
1982年 3月 京都工芸繊維大学工学部工業化学科卒業
1982年 4月 株式会社村田製作所入社
(滋賀県八日市事業所、富山村田製作所出向、滋賀県野洲事業所)
* 圧電原料、圧電セラミックスの量産工程の製造技術、プロセス開発
* 社歴後半数年間は、セラミックス無焼成工法(エアロゾルデポジション工法)の研究開発を担当
- 2018年 10月 同社定年退職
2018年 10月 「大西技術士事務所」開業
- 【専門分野】 圧電セラミックス及び圧電原料の製造技術・量産化技術、プロセス設計、及びエアロゾルデポジション工法プロセス研究開発
- 【資格】 乾燥設備作業主任者(1984/3)、第1種衛生管理者(1991/10)、プレス作業主任者(1995/1)、技術士登録(化学部門)(2013/5)
- 【趣味】 スキー、オートバイツーリング、ビール
- 【その他自己PR など】

基本的には体育系の人間です。体を動かすことが大好きで、仕事も考えるよりも動くのが先かも知れません。中学、高校、大学(途中)までは柔道、そして就職してからは、いろいろなスポーツに手を出し、卓球、軟式野球、競技綱引き、スキーと楽しんでいました(スキーは今なお現役です)。また、オートバイツーリングも、30歳での免許取りからスタートし、職場仲間と全国を旅しました。その爽快感が忘れられず、退職後も走っております。

講師氏名：山本 泰三 (やまもと たいぞう)

- 【略歴】 1941年 神戸市生まれ。
1964年 名古屋工業大学卒業。
1964～2000年 大阪ガス(株)で活動。
1997年 55才で技術士(環境)を登録。
2000年 (株)エコ・サポートを設立。
環境/ISO/マネジメントシステムなど技術・経営に関わるコンサルタントなど。
2011年 福島原発事故に伴い、発電事業に繋がるエネルギー技術システムの開発・普及に集中。
- 【参考】 2018年8月9日 標記テーマに関わる国際会議で発表。
インドネシアスマトラ島、リアウ州知事から記念の楯を頂くところ。
中央は主催者のBPPT(技術研究応用庁、1978年設立)の担当部長。
日本の技術を活用するコンサルタントとしてBPPTと契約を結ぶ最終段階。



以上